**厚労省調査アンケート項目【医師】**

この度は厚生労働科学特別研究事業「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療の対応やその影響についての研究」のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。

この調査は、令和2年4月10日に厚労省から発出された事務連絡以降の、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う特例措置下で、貴院が実施した電話・オンライン診療（情報通信機器を用いた診療）に関して行うものです。回答は、今後のオンライン診療の制度のあり方に関する議論に活用されます。調査結果は集計した形でまとめられて報告されますので、回答いただいた方の個人を特定される形で第三者に知られることはありません。本研究の結果は、国への報告書や論文発表などでの公表を予定していますが、個人が特定される形で情報を公開することは決してありません。何卒ご協力のほどお願いします。全て選択式となっていますので、該当するものにチェックをして、回答を進めてください。所要時間はおよそ15分です。

なお、アンケートにお答えいただいたことにより、本研究に参加することに同意されたとみなします。ご質問がある場合はinfo.korokaken@you-homeclinic.or.jpまでメールをお送りください。

【はじめに、先生についてお伺いします】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な勤務施設 | 12 | 病院診療所 |
| 年齢 | 1234567 | 29歳未満30代40代50代60代70代80代以上 |
| 勤務施設の所在地 | 12345678910111213141516 | 北海道青森岩手宮城秋田山形福島茨城栃木群馬埼玉千葉東京神奈川新潟富山 | 17181920212223242526272829303132 | 石川福井山梨長野岐阜静岡愛知三重滋賀京都大阪兵庫奈良和歌山鳥取島根 | 333435363738394041424344454647 | 岡山広島山口徳島香川愛媛高知福岡佐賀長崎熊本大分宮崎鹿児島沖縄 |
| 今回用いた主な方法 | 123 | 電話（映像なし、以下同）のみオンライン（映像ありの情報通信機器を用いた診療、以下同）のみ電話とオンラインの併用 |
| 電話での診療を実施した主な症状・疾患（複数回答可） | 12345678910 | COVID-19疑い呼吸器疾患神経・筋疾患精神疾患皮膚科疾患アレルギー性鼻炎その他アレルギー疾患耳鼻咽喉科疾患感染症内分泌疾患 | 11121314151617181920 | 肝・胆・膵疾患その他消化器疾患腎疾患代謝疾患眼科疾患膠原病ほか類縁疾患循環器疾患産婦人科疾患泌尿器科疾患整形外科疾患 | 21222324252627 | 歯科領域血液疾患在宅医療ワクチン後副反応の相談悪性新生物その他診療実績なし |
| オンライン診療を実施した主な症状・疾患（複数回答可） | 12345678910 | COVID-19疑い呼吸器疾患神経・筋疾患精神疾患皮膚科疾患アレルギー性鼻炎その他アレルギー疾患耳鼻咽喉科疾患感染症内分泌疾患 | 11121314151617181920 | 肝・胆・膵疾患その他消化器疾患腎疾患代謝疾患眼科疾患膠原病ほか類縁疾患循環器疾患産婦人科疾患泌尿器科疾患整形外科疾患 | 21222324252627 | 歯科領域血液疾患在宅医療ワクチン後副反応の相談悪性新生物その他診療実績なし |
| 初診として、ここ３ヶ月間の月平均の電話・オンライン診療実施実績 |  |  | 1-1 | 電話 | 1234 | なし月に１〜２月に３〜５月に６以上 |
| 1-2 | オンライン診療 | 1234 | なし月に１〜２月に３〜５月に６以上 |
| 再診として、ここ３ヶ月間の月平均の電話・オンライン診療実施実績 |  |  | 2-1 | 電話 | 123456 | なし月１〜１０月１１〜２０月２１〜５０月５１～１００月１００以上 |
| 2-2 | オンライン診療 | 123456 | なし月１〜１０月１１〜２０月２１〜５０月５１～１００月１００以上 |

1. 厚生労働省が作成した「オンライン診療の適切な実施に関する指針（2019年7月一部改訂）」を読み、理解されましたか

□はい

□いいえ

1. 令和2年4月10日に厚生労働省が発出した事務連絡を読み、理解されましたか

□はい

□いいえ

1. 厚生労働省の「オンライン診療を実施する医師に対する研修」を受けましたか

□はい

□いいえ

**【電話やオンライン診療についての質問にお答えください。「電話」とは映像なし、「オンライン診療」とは映像ありの情報通信機器を用いた診療を想定しています】**

1. **過去に貴院に受診歴がなく、かつ全く事前情報がない患者の初診について**
	1. 診療は可能でしたか。（診療の実績がない場合には「診療実績なし」にチェックしてください。以下同）
		1. 電話

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* + 1. オンライン診療

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* 1. 診療が不可能と考える理由としてはどのようなものがあると考えますか。
		1. 電話（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

1. **過去に貴院に受診歴がある、または受診歴はないが他院からの情報があるとき**
	1. 診療は可能でしたか。（診療の実績がない場合には「診療実績なし」にチェックしてください。以下同）
		1. 電話

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* + 1. オンライン診療

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* 1. 診療が不可能と考える理由としてはどのようなものがあると考えますか。
		1. 電話（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

1. **再診について**
	1. 診療は可能でしたか。（診療の実績がない場合には「診療実績なし」にチェックしてください。以下同）
		1. 電話

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* + 1. オンライン診療

□全て可能であった

□一部可能であった

□全て不可能であった

□診療実績なし

□受けない方針だった

* 1. 診療が不可能と考える理由としてはどのようなものがあると考えますか。
		1. 電話（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□明らかに普段と様子が異なるため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□患者との信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□不可能なものはない

□採血などの検査が必要なため

□明らかに普段と様子が異なるため

□重大疾患が見落とされる可能性があるため

□急に起こった症状の診療が難しいと考えるため

□対面診療と同じ程度の情報が得られないため

□患者との信頼関係がないため

□患者のなりすましの可能性があるため

□そもそもやるべきではない

1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診からの電話・オンライン診療における麻薬および向精神薬の処方について**
	1. **初診**で麻薬および向精神薬の処方を禁じるのは医学的に適切と考えますか
		1. 電話

□適切

□適切ではない（処方しても良い）

* + 1. オンライン診療

□適切

□適切ではない（処方しても良い）

1. **初診からの電話・オンライン診療における処方全般について**
	1. **初診において患者の基礎疾患の情報が把握できない場合**の、処方日数制限は適切と考えますか
		1. 電話

□適切

□一定の基準を設けた上で、医師の判断と責任で決めるべき

□一律の基準を設けず、医師の判断と責任で決めるべき

* + 1. オンライン診療

□適切

□一定の基準を設けた上で、医師の判断と責任で決めるべき

□一律の基準を設けず、医師の判断と責任で決めるべき

* 1. **初診において患者の基礎疾患の情報が把握できない場合**の、ハイリスク薬（抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤等）の処方禁止は適切と考えますか
		1. 電話

□適切

□一定の基準を設けた上で、医師の判断と責任で決めるべき

□一律の基準を設けず、医師の判断と責任で決めるべき

* + 1. オンライン診療

□適切

□一定の基準を設けた上で、医師の判断と責任で決めるべき

□一律の基準を設けず、医師の判断と責任で決めるべき

1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診から電話やオンライン診療を実施することで生ずる恐れのあり不利益や急病急変時の対応について**
	1. 医師から患者に十分な情報提供はしましたか
		1. 電話

□全例情報提供した

□一部情報提供した

□情報提供はしなかった

□診療実績なし

* + 1. オンライン診療

□全例情報提供した

□一部情報提供した

□情報提供はしなかった

□診療実績なし

1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診から電話やオンライン診療において、対面による診療が必要と判断される場合の対応について**
	1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診**において対面による診療が必要と判断される症例はありましたか
		1. 電話

□あった

□なかった

□初診の症例実績なし

* + 1. オンライン診療

□あった

□なかった

□初診の症例実績なし

* 1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診**において、どのような時に対面による診療が必要と考えますか
		1. 電話（複数回答可）

□対面が必要なものはない

□重大疾患が見落とされる可能性がある時

□急に起こった症状の診療が難しい時

□対面診療と同じ程度の情報が得られない時

□患者との信頼関係がない時

□患者のなりすましの可能性がある時

□そもそもやるべきではない

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□対面が必要なものはない

□重大疾患が見落とされる可能性がある時

□急に起こった症状の診療が難しい時

□対面診療と同じ程度の情報が得られない時

□患者との信頼関係がない時

□患者のなりすましの可能性がある時

□そもそもやるべきではない

* 1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診**において対面による診療が必要と判断された症例について、円滑に対面診療に移行できましたか
		1. 電話（複数回答可）

□自院で行った

□他院に紹介した

□できなかった

□症例実績なし

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□自院で行った

□他院に紹介した

□できなかった

□症例実績なし

1. **（基礎情報の有無に関わらず）初診から電話やオンライン診療を実施する場合のなりすましや患者の虚偽申告の防止について**
	1. 患者のなりすましや虚偽申告の疑い症例はありましたか
		1. 電話

□あった

□なかった

□症例実績なrし

* + 1. オンライン診療

□あった

□なかった

□症例実績なし

* 1. 疑いがあった場合に都道府県への届け出は円滑に実施できましたか
		1. 電話

□できた

□できなかった

□症例実績なし

* + 1. オンライン診療

□できた

□できなかった

□症例実績なし

* 1. 自身の医師としての本人確認に何を用いましたか
		1. 電話の場合（複数回答可）

□医療機関名と氏名を口頭で述べる

□その他

□診療実績なし

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□医療機関のネームプレート等

□日本医師会発行の医師資格証（HPKIカード）

□運転免許証

□パスポート

□医師免許証

□その他

□診療実績なし

* 1. 患者のなりすましの対策として何を行いましたか
		1. 電話（複数回答可）

□氏名、生年月日、連絡先を聞き取った

□上記に加え、保険者名、保険者番号、記号、番号等の被保険者証の券面記載事項を聞き取った

□被保険者証の写しや電子データをFAXもしくはメールで受け取った

□行っていない

□診療実績なし

* + 1. オンライン診療（複数回答可）

□氏名、生年月日、連絡先を聞き取った

□被保険者証の写しや電子データを情報通信機器上で受け取った

□被保険者証の写しや電子データをFAXもしくはメールで受け取った

□被保険者証を診察時にビデオ越しに確認し

□行っていない

□診療実績なし

1. **２度目以降の診療を電話やオンライン診療にて実施する場合について**
	1. **特例措置での２度目以降の診療**において、すでに対面で診断され治療中の疾患を抱える患者の、発症が容易に予測される症状の変化に対して、これまで処方されていない医薬品の処方をすることは適切と考えますか
		1. 電話

□適切

□適切ではない

* + 1. オンライン診療

□適切

□適切ではない

* 1. **特例措置での２度目以降の診療**において、電話やオンライン診療（情報通信機器を用いた診療）のみで継続的な治療を行う場合、患者の医学的な管理は適切に行えると考えますか
		1. 電話

□適切に行える

□適切に行うことはできない

* + 1. オンライン診療

□適切に行える

□適切に行うことはできない

1. **（オンライン診療を実施された方のみに伺います）オンライン診療に活用した情報通信機器について**
	1. 用いた情報通信機器の種類はいずれでしょうか

□オンライン診療専用システム

□オンライン診療専用ではない、一般的な汎用ビデオ通信システム

* 1. 情報通信機器にかかる費用はいくらでしたか
		1. 導入料

□無料

□１０万円以下

□１０万円超〜５０万円以下

□５０万円超

* + 1. 月額利用料

□無料

□１万円以下

□１万円超〜３万円以下

□３万円超〜５万円以下

□５万円超

* 1. システムのセキュリティに関する不安はありますか

□ある

□ない

**ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。**